

草津中学校の生徒を
いじめから守るために

いじめ STOP



しない させない みのがさない

こんなケースもいじめになります。

休み時間になっても自力で問題を解いているときに勝手に答えを言われて、嫌な気持ちになった。

持ち物を隠されて、被害の子が探している姿を見て、周囲の子が笑っていて嫌な気持ちになった。

部活中に自分がミスして笑われて嫌な気持ちになった。

みんなには「おはよう」と言っているのに、自分だけ言ってもらえず、嫌な気持ちになった。



なにをしたか、誰がしたかではなく、
被害を受けた子どもが「嫌な思いをしたらいじめ？」

平成25年9月に施行された「いじめ防止対策推進法」では、次のように定義されています。「パソコン・携帯電話での中傷、悪口」などの種類も追加されました。

いじめの定義をご存じですか？

「いじめ」とは「児童生徒に対して、当該児童生徒が在籍する学校に在籍している等、当該児童生徒と一定の人的関係のある他の児童生徒が行う心理的又は物理的な影響を与える行為（インターネットを通じて行われるものも含む。）であって、当該行為の対象となった児童生徒が心身の苦痛を感じているもの」とする。なお、起こった場所は学校の内外を問わない。

【いじめ防止対策推進法より抜粋】

本人が「いじめのつもりではなかった」とそのつもりがなくても、加害者になってしまうケースがあります。人を気遣う言動ができるように心がけておくことが重要です。



つまり、いじめとは…

○加害者と被害者が知り合い同士

○「嫌な気持ちになった」

「痛い思いをした」など

心身の苦痛を感じているもの

○心理的または物理的な影響を与える行為

一見仲がよさそうに見えても、実はいじめられていることも考えられます。

こんなことが「いじめ」です。

- (1) からかわれたり、嫌なことを言われたりする。
- (2) 仲間外れ、無視される。
- (3) 軽くぶつかられたり、遊ぶふりをしてたたかれたりする。
- (4) ひどくけられたり、プロレス技をかけられたりする。
- (5) 物をかくされたり、壊されたり、捨てられたりする。
- (6) 嫌なことやはずかしいこと、危険なことをさせられる。
- (7) インターネット上で悪口などを書かれる。

認知件数について

学校が情報を確認したもののうち、「いじめ防止対策推進法」上の「いじめ」にあると判断されたものすべての数字が「認知件数」です。どんな些細なトラブルもいじめに発展する可能性があるかと捉え、丁寧な対応を行った件数の報告のことで。

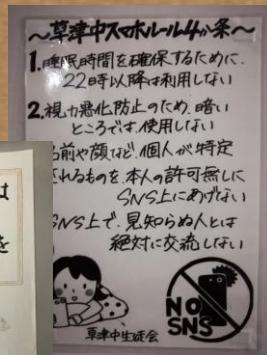
いじめ未然防止の取組

1. 生徒会がいじめ未然防止を発信

生徒会が中心となり、どうすればいじめは防げるかを話し合い、ポスター作成、あいさつ運動、相談箱の設置などを行っています。

INP (いじめなくそうプロジェクト) 活動

活動紹介



ポスター制作

朝のあいさつ運動

草津中スマホルール 4か条

第74期生徒会 作成

1. 睡眠時間を確保するために、22時以降は使用しない
2. 視力悪化防止のため、暗いところでは使用しない
3. 名前や顔など個人が特定されるものを、本人の許可なしにSNSにあげない
4. SNS上で、見知らぬ人とは絶対に交流しない

2. いじめ調査の実施

毎学期に1回、いじめ調査を実施し、いじめを受けていないか、または見聞きしていないかを確認しています。認知した場合は速やかに関係者への聞き取りを行い、適切に対処していきます。

3. 教育相談の実施

1年間に3回、担任と10～15分程度の面談をする教育相談期間があります。教育相談シートには、いじめについての質問があり、いじめの被害にあっていないか、周囲でいじめはないかなどを事前に聞き取っています。

4. 道徳、人権学習でいじめ防止学習

6月、9月のいじめ防止啓発強化月間にあわせて、いじめ防止に関する授業を実施します。また、いじめにつながりやすいSNSやスマートフォンの使い方についても、外部講師を招いて学習します。

草津中学校「いじめ防止基本方針」より

いじめ

かも…と思ったら…
に気がいたら

草津中の先生はチーム一丸となり、 解決のために動き出します！



- 気がついた人は、どの先生でもいいので知らせてください。先生に話しにくい場合は、友だちや家の人に伝えてください。

いじめを認知したら…
学校問題対策委員会・いじめ対策委員会を開き、解決に向かうまで何度も対策委員会を開きます。

【対策委員会メンバー】
関係する学年や学級の先生
生徒指導主事・校長・教頭
養護教諭・教育相談担当の先生
スクールカウンセラー
スクールソーシャルワーカー



詳しく調べます

- いじめをしたかもしれない人、いじめをされたと感じた人、様子を見ていた人などから、それぞれ話を聞きます。状況に応じて、授業時間中に別室で話を聞くこともあります。

いじめをした子などを指導します

- いじめの内容によっては学校以外の人に指導に協力してもらうこともあります。

謝罪の場を設定

- 被害本人、保護者の思いに沿って謝罪の場を設定します。
- いじめをされた子どもと保護者が、今の気持ちを話します。
- 学校（先生）から、これからの見守り、再発防止等について話をします。

保護者に連絡します

- いじめをした子、された子、両方の保護者に連絡をして起こったことを伝えます。

その後の様子・状況を保護者に伝えます。

- 指導後の学校での様子をお伝えします。発生から3ヶ月を目処にいじめが止んでいるかの確認をします。

同じ事が二度と起こらないよう再発防止に取り組みます

- 同じことが起きないように、再発を防ぐ取組をします。
- いじめ発生後、いじめが継続していないか、本人、保護者に定期的に確認を行います。

誰もがいじめられる側、いじめる側になる可能性があります。お子さんは、保護者の声かけを待っているかもしれません。お子さんの様子、変化を見逃さないようにすることが大切です。



こどもの変化

- 買った覚えのないものを持っている。
- 与えた以上のお金を持っている。または、お小遣いでは買えないものを持っている。
- 親の言うことを聞かなくなり、言葉遣いが荒くなる。
- 親が部屋に入ることを極端に嫌がるようになった。
- 「洗濯物を自分でする」と急に言い出す。

生活の変化

- 朝、なかなか起きられない。
- 朝になると色々な理由をつけて学校を休みたがる。
- 明らかな遅刻、早退が増えた。
- 食欲がない。
- 服が汚れたり、破れたりしている。
- 自分を否定するような言動が増える。
- 夜、寝られていない。

家族との変化

- 学校で使うものや持ち物がなくなったり、壊れたりしている。
- 教科書やノートに落書きをされたり破られたりしている。

友だち関係の変化

- 親しい友だちが遊びに来ない。遊びに行かない。
- 学校や友だちに対する不平、不満を言うことが増える。
- 転校したい、消えてしまいたいなどの話をするようになる

家族との変化

- 表情が暗く、会話が少なくなる。
- イライラし、家族や物にあたる。
- 自分の部屋に閉じこもっている時間が増える。
- 家からお金を勝手に持ち出したり、必要以上にお金をほしがる。

家族 でキャッチするために

- 子どもと過ごす時間を作りましょう。
- 子どもの様子にアンテナを張りましょう。
- 悩みがあれば一人で悩まずに誰かに相談することが大切であることを子どもに伝えましょう。



テクノロジーの発達スピードがめざましく、スマートフォンやSNSでのトラブルやいじめが複雑になり、見えにくくなっています。



こんな状況にご注意ください。すべていじめです。

- 本人に許可なくSNSに写真を投稿したり、グループラインにアップした。
- ゼンリーなど位置情報サービスアプリで自宅等を特定し、他人に教える。
- もらった写真を加工して、他人に見せる。
- 偽アカウントを作成し、第三者になりすまして悪口を書き込んだり、送信したりする。
- 匿名性の高い質問箱（インスタグラムなど）に誹謗中傷を書き込む。

個人情報

個人情報を掲載すると肖像権やプライバシー権の侵害にあたることもあります。加害者にも被害者にもなる可能性があることを子どもに理解させましょう。

誹謗中傷

特定の個人に対する悪口や誹謗中傷は名誉棄損罪などの罪に問われる場合があることを子どもに伝えましょう。

ネット対策

インターネットの有害サイトを閲覧できないようにするフィルタリングを設定しましょう。

SNSや掲示板で誹謗中傷、悪口を書かれ削除したいと思ったら…

ネット上の書き込みを学校が把握することは難しく、学校が常に監視して関わっていくことには限界があります。ネット上の書き込みの削除依頼は、学校ではなく、原則として、本人または保護者が行うこととなります。学校はその方法などについて助言を行い、支援します。犯罪性が高い場合は、警察に通報することも重要です。



違法・有害情報相談センター

インターネット上の違法・有害情報に対して適切な対応を促進する目的で、対応に関するアドバイスや関連情報の提供等を行う相談窓口です。インターネットにおける違法・有害情報に対する削除等の対応方法について教えてください。

<https://ihaho.jp/>

インターネット・ホットラインセンター

インターネット上の違法・有害情報に関する通報を警察庁に情報提供し、サイト管理者等に送信防止措置を依頼する等の業務を行っています。相談窓口ではありません。

<https://www.internethotline.jp/>

